

# 令和4年度長崎県アルコール依存症 診療ネットワーク講演会

日時 2022年11月27日(日) 13時30分～16時

会場 出島メッセ長崎1F 108会場  
長崎市尾上町4-1 TEL:095-801-0530

参加費無料

講演会 13:30～14:30

演題

長崎県におけるSBIRTSの普及について

～保健所や普通の精神科が普段の仕事の  
片手間にできるアルコール医療の連携～

講師:

座長:

自助グループ紹介

14:40～15:00

断酒会について 片渕 学 様(長崎県断酒連合会 会長)  
AAについて AA長崎地区メンバー

体験発表 15:00～

回復者および家族からの体験発表

## 参加方法

- 参加される方は下記QRコードより登録をお願いします。
- 当日は会場までご来場いただくか、Webで参加が可能です。
- 会場でのご聴講は最大100名となっております。
- <https://forms.gle/Ta26i7QNAFkpn2bbA>



主催 長崎県障害福祉課、三和中央病院（アルコール依存症専門医療機関）  
お問い合わせ 三和中央病院 医療社会福祉室 TEL 095-898-7511 e-mail info@sanwa.or.jp

# SBIRTS (エスパーツ) って、なんだろう？

## SBIRTSは難しくない！ 断酒会の酒害相談と同じ

SBIRT (エスパート) は専門医療の間では、依存症の医学的治療のコンセプト (概念) として定着したものであるが、このコンセプトには自助グループの存在が欠落している。

短期的予後の改善だけなら、これでOKかもしれないが、依存症は進行性の慢性疾患であり、長期的な予後ケアするには自助グループの存在が欠かせない。

そこで、SBIRTに自助グループ (Self-help-group) の「S」を連結して、依存症治療の流れを完結させようというのがSBIRTS (エスパーツ) の考え方である。

横文字を並べてエスパーツなどと呼ぶので、何か難しい理論のように見えるが、中身は、断酒会が日常行っている酒害相談の流れと全く変わらない。

難しく考えないで、これまで通り、断酒会の自然体で普及に取り組みたいものである。

### 比較表

	SBIRTS	酒害相談
S	Screening 飲酒度をふるい分ける AUDIT、KAST、CAGE等を使用	どれくらい飲んどる？ 何を飲んどる？ いつ頃から飲み始めた？ 家族はなんと言っている？ 奥さんご主人のこと、どう思っている？
BI	Brief Intervention 簡易介入 相談、節酒・断酒指導、生活指導 “危険な飲酒” 患者には、節酒を勧め、“乱用” や“依存症” 患者には断酒を勧める。	もうそろそろ考えないかな。 自分でどう思っとる？ 止めてみたことあるか？ 休肝日作れるか？ 思い切ってやめてみるか？
RT	Referral to Treatment 専門医療紹介 専門治療の必要な患者には「紹介」を行う	やはり一回専門の医者に診てもらった方がいい。 俺が世話になっている医者を紹介しよう。 奥さん、首に縄つけても連れていかなあかんわ。 なんなら俺もついていくよ。
S	Self-help-Group 自助グループへ繋げる 医療機関や健診機関のスタッフが強めに自助グループを紹介する	○医者が嫌なら断酒例会に出てみたら？ 同じ仲間がたくさん頑張っているよ。 ○病院で一旦、酒が止まっても続けるのはたいへん。仲間と一緒に例会では話したり聞いたりするのが回復の秘訣。だまされたと思って通ってみなさい。

### (SBIRTSは医師、患者・自助グループ会員の信頼関係が大切)

1. アルコール依存症の受診患者が順調な長期的回復を実現するためには、自助グループに参加することが望ましい。
2. そのためには、治療にあたる医師が、積極的に、患者と自助グループの構成員との出会いの場を演出し患者自身の持つ偏見を取り除き、自助グループへの抵抗を和らげるよう努力することが大切である。  
自助グループは、これに応えて、受け入れ態勢を整えなければならない。
3. 視点を変えれば、医師による治療のための出会いの場の演出 (患者と回復者の) という側面と、自助グループによる医師への治療支援という二つの側面があるといえる。